

港北消防団夏季訓練会

[港北消防団](#)夏季訓練会(かきくんれんかい)とは、港北消防団、[港北消防署](#)により例年8月の第一週に行われる消防訓練会である。港北消防団の真夏の恒例行事でもある。平成27年度までは、樽町にある鶴見川樽町公園で開催されていたが、平成28年度から北新横浜1丁目にある交通局新羽車両基地(新羽保守管理所)の敷地を借用して行われている。(左写真)



- [1 概要](#)
- [2 式次第](#)
- [3 ギャラリー](#)

概要

港北消防団では、昭和の時代より夏季にポンプ操法の訓練会を開催していたが、平成4年頃から夏季訓練会という名称で、ポンプ操法だけではなく各種活動を披露する場として開催されている。主催の港北消防団、消防署の他、区内の防災関係者が多数来場し、毎年盛大に開催されている。

式次第

夏季訓練会の例示として平成28年度港北消防団夏季訓練会の式次第を掲載する。

- ・開会のことば
- ・訓練参加部隊状況報告
- ・港北消防団長訓示
- ・来賓祝辞
- ・小型ポンプ操法
- ・訓練礼式
- ・震災対応救出救護・消防団消防署連携訓練
- ・審査結果発表
- ・表彰
- ・港北消防署長講評
- ・閉会のことば



総合訓練のフィナーレを飾る一斉放水

ギャラリー



港北消防団全8分団、400名、積載車39台が揃う開会式の様子



鶴見水上出張所より借用した5t水槽、他に消防局警防課から借用した10t水槽も活用



熱中症対策のため、訓練センターより借用したミスト扇風機、今年度の発症者はゼロだった。



気温がぐんぐん上がる中、訓練開始直前まで念入りの打ち合わせをする審査員



女性のみで構成される第八分団による訓練礼式



炎天下、灼熱のアスファルトの上で白熱するポンプ操法の様子



ポンプ操法では、新横浜のビル群をバックに放水を披露する。



総合訓練で救護所設営と救護活動を行う第8分団



第1、2、7分団によるチェーンソー、エンジンカッターを使用した救助資機材取り扱い。(総合訓練)



救助資機材取り扱いでは、第4、5分団による油圧ジャッキの取り扱いも行われた。(総合訓練)